



おいしいおこめとうさぎおにぎり

吉岡町立駒寄小学校 1年 高野 侑加

わたしがはじめてつくったおべんとうは、うさぎのかたちのおにぎりです。4さいのときにつくりました。ようちえんは、すいようびがおべんとうのひで、いつもたのしみにしていました。つくりかたは、たきたてごはんをすばーんでかたぬきにいれます。うさぎのかたちにして、のりで、はなとめをつくってのせたら、うさぎおにぎりのできあがり。ほっぺは、おはしのさきにけちやっぷをつけて、ちょんちょんします。おべんとうばこにそっといれて、ようちえんにもっていくけど、つぶれてないかなって、いつもしんぱいでした。おひるのじかんにふたをあけると、にこっとしたうさぎおにぎりが、わたしをまっています。かわいいうさぎのおにぎりは、いちばんさいごにとっておいて、みみからちょっとずつたべて、さいごにかおをだいじにたべていました。たべおわったら、こころのなかで「おいしかったよ。おかおをたべちゃってごめんね。」とおもっていました。

わたしのおじいちゃんは、おこめをつくっています。かそくにたべさせるために、あつくてもあせをかきながら、がんばっています。8がつ5か、おとなたちが、たんぼのあみはりにいきました。おこめを、とりにたべられないようにするためです。でも、このまえ「からすがたべちゃったよ。」と、おばあちゃんがっていました。おじいちゃんのおこめは、おいしいから、だいにんき。とりさん、わたしのぶんのおこめも、のこしておいてね。

わたしのうちは、おなかがすいたらすぐにたべられるように、よくおにぎりをしておきます。おとうとのつくるころおにぎり、おかあさんのつくるちいさいさんかくおにぎり、おばあちゃんのつくるおおきいおにぎり。みんなかたちはちがうけど、ぜんぶおじいちゃんのおいしいおこめ。